

アニメで英語

—私の授業—

山口吉男

愛知学泉短期大学

English Lesson by Animation

- What I am doing in my class -

Yoshio Yamaguchi

キーワード: 英語の授業 English lesson, アニメ animation, 『アラジン』 *Aladdin*,

ディ・ヴィ・ディ DVD, 語彙 vocabulary, 対比 opposition

1. はじめに

アニメを授業の教材として利用するのが数年来の私の方法だが、それは DVD とインターネットという情報環境が可能にしてくれた。それまでにも私は映画や授業用につくられた映像を部分的に利用してきた。それは教材の応用編などとして紹介したが、ときには授業の息抜きや *change of pace* でもあつて、それ自体を学習の対象とするにはいたらなかった。つまり、基本テキストとして教科書があり、それを補うものとして私がアトランダムに選んだ映像があった。他方、映画の一部を見せようとする、その準備に少なからぬ時間がかかった。時間がかかる割には学生の関心が低かったのは、授業のテキストと映像の関係が影響していたかもしれない。もう少しあとになれば、映画のテキスト版を利用することも可能になった。しかしなんといつても、こうした事態を劇的に変えたのは、インターネットの出現と DVD の登場による。

2. DVD とインターネット

インターネットと DVD の登場がどんなに学習を変える可能性を持っていたか。時間と費用を要した英語へのアクセスがワンクリックで

きるようになった。辞書を始め、学習サイトなどチェックしきれないほどのサイトがネット上にある。例えば *bleacher* の発音を確認することも、それがどのようなものを画像で確認することもできる。動画を見ながら英語を聞くことも、英語の音楽のイーजीリスニングもできる。視聴している歌のテキストをみつけることも難しくはない。ネット上では、手っ取り早く質問を發し回答をうることも可能で、入学試験をめぐるトラブルで問題化したのはついこの間のことだった。^{注1}

ネットを利用すれば、*marry*、*married*、*marriage* の意味や用法の違いについて説明をうることができる。この3つの異なる言葉が学生たちに「結婚」と一括されて記憶されている。賢明な学習者ならそれが「結婚」という意味ではないこと、品詞も意味も違うことを知っているし、*get married* という表現にも気づくはずだ。ここからそれと対になる「離婚」「離婚する」「離婚した」の英語表現へ、さらには「別居(する)」などの関係する表現へと、語彙と表現を展開することができる。

ネット上には語彙学習が学習者の興味や関心を引くようなゲーム形式で作られているサイトがあるが、それだけでは英語と日本語の意味の対応で終わってしまうし、上に述べたように

しばしば言葉の違い（意味と品詞）が無視されがちだとすると、語彙レベルだけではなく表現のレベルまで学習を展開できるかどうかが鍵になる。^{注2}

DVD の出現は学習の可能性を広げてくれた。ビデオと比べるとデジタルの使い勝手のよさは言うまでもない。^{注3} 簡単な音声や字幕の切り替えは学習の負担を軽減してくれる。DVD によっては、映像を鑑賞しながら制作者のことばに耳を傾けることもできる。しかし、私にはそれ以上に、字幕が教室的窮屈さから解放してくれるように思われる。そんな簡単な英語でいいのかと、眼から鱗の経験をししばしする。それはまた英語の語感や発想を養うことになる。

インターネットに戻れば、私たちはいましがた DVD 映像の字幕としてみた英語を、ネット上でスクリプトを検索して読むことができる。さらにスクリプトを検索すれば、アニメのキーワードについて調べることができる。

私たちはこうした情報環境にいるのであって、これをどのように英語学習に役立てるか、教室的な学習からどのような自律的な学習が可能かを、学習者の興味や関心をもとに考えるところにさしかかっている。

3. アニメで英語の授業

アニメは子ども向けのプログラムであるから映画やテレビドラマにはない取っつきやすさがあるのは、アニメを英語の教材とした理由のひとつだが、それと同時に（1）なじみのアニメであることで学生たちが身近なもの、既知のものであると感じてくれる。身近であること、既知であることは、学習が私たちの日常と別のところにあるのではないこと、既知を学習にいかすこと、既知を学習の困難を乗り越える手がかりとしてくれることを期待してのこと。（2）私の大半の学生が苦手とする英語、しかも中学・高校と6年間も苦手意識に取り付かれている英語に、英語学習の文脈とは別のルートからアクセスすることはできないかと考えてのことである。なじみのアニメであることは、英語学習の負担や不幸の意識を軽減してくれはしないか。

（3）映像利用の英語学習となるとヒアリング

や口頭での発音練習が中心になりがちだが、映像としてある情景や動作が記憶されるのも学習の効果を高めるのではないか。アニメの映像がそこで語られたセリフを思い出させる手がかりにならないだろうか。私が授業中にしばしば学生たちにそのセリフはどこでだれが言っていたかと問うのも、セリフの情景を思い出して欲しいからだ。こんな思いから始めたアニメによる英語の授業である。

4. 英語学習と映像批判

私は『アラジン』というアニメが優れた作品であるから授業の教材として採用しているわけではない。むしろアラブ世界への偏見や結婚の称揚、ホームレスの若者が王女と結婚して王位を獲得するというアメリカン・ドリームの実現など、問題にすべき点は多々ある。^{注4} そのことは英語学習だからといって無視されていいわけではない。しかしここが厄介なところで、ジェンダーや女性学の授業としてディズニー・アニメを問題にすることはできようが、英語学習と並行してアニメそれ自体を問題とすることは、学生たちの学習意欲を減退させかねない。^{注5} ホームレスの若者と王女の階級を越えた恋愛が敵役の悪だくみに打勝ってめでたく結婚にいたるのは、学生たちの物語意識に適合することなのだ。しかも王女の自由も囚われの巨人の自由と解放のテーマも挿入されている。ないない尽くしの生活を嘆いていた王女だが、いったん宮廷の壁を乗り越える冒険を経験したあとは、活発な性格に変貌する。彼女はアラジンを出し抜く能力も備えている。部分的にはそうしたジェンダー状況を取り込んでいるが、王女の結婚問題の解決で他の問題が解決すると言わんばかりのアニメなのだ。このことを英語の学習としてどのようにとり入れるかは、目下ところ私は成案を持ち合わせていないが、英語学習の課題だ。

5. アニメでなにを学ぶか

私はネット上公開されているアニメのスクリプトを授業用に編集して学生に配布する。¹⁾

スクリプトは授業時間と学生の学力をもとに選択的に編集する。語彙、アニメのキーワード、日本語に比して易しい英語表現などをもとに、聞き取り中心に編集するが、映像をもとにト書きの空欄を補う問題も課す。また、『アラジン』の英語学習が他でも役立つことを示すためにニュース英語も紹介する。聞き取りと空欄補充の課題には、定期的に正解と解説を一覧にしたハンドアウトを用意する。そこでは聞き取るべき英語だけでなく、その意味やスクリプトのなかの他の用例もあわせて解説する。

アニメの『アラジン』には批判すべきところが多々あるのは先にも述べた通りだが、英語学習の点から見れば、英語表現に一貫した工夫がなされているように見える。試しにスクリプトを読んでみればいい。子ども向けのプログラムであるから当然かもしれないが、日本語の字幕からは想像もつかない易しい英語で書かれている。それはあるレベルの日本語も易しい英語で表現できるということだ。同一の表現が反復して利用される。ある表現を理解すると少しのヴァリエーションで別の表現が可能になる。同じ趣旨のことが言葉をかえて表現される面白さもある。手探りするように始めた英語学習のアニメ利用であったが、こうして見ると、アニメは英語の学習にふさわしいものと言うことができようか。

6. 学習の実際

(1) 教材から

さて、ここで実際に私がどのように英語の授業を展開しているかについて述べておこう。次の引用は、助けた若い女性をアラジンは王女だと知らないでネグラに案内する場面の会話である。配布するハンドアウトでは下線部を聞き取り用として空欄にしている。

ALADDIN: Right. C'mon, this way. Watch your head there. Be careful.

JASMINE: Is this where you live?

ALADDIN: Yep. Just me and Abu.

Come and go as we please.

JASMINE: [That sounds] Fabulous.^{注6}

ALADDIN: Well, it's not much, but it's got a great view. Palace looks pretty amazing, huh?

JASMINE: Oh, it's wonderful.

ALADDIN: I wonder what it would be like to live there, to have servants and valets...

JASMINE: Oh, sure. People who tell you where to go and how to dress.

ALADDIN: It's better than here. [You're] Always scraping for food and ducking the guards.

JASMINE: You're not free to make your own choices.

ALADDIN: Sometimes you feel so...

JASMINE: You're just...

BOTH: (in unison) -trapped.

この箇所は、宮殿生活に憧れるアラジンとそこから逃げ出してきたばかりの王女との意見が対立するところで、王女には宮殿の窮屈な生活とは無縁のアラジンとアブーの「気ままな生活」(Come and go as we please)がすばらしく見える (Fabulous)。しかしアラジンにとってはネグラから眺める宮殿こそが一番なのだ。宮殿の生活を思うアラジンに対して言葉ばかりは同意するものの王女はアラジン自慢の宮殿に背を向ける。聞き取りと並行して以下のような解説や表現を確認する。

Watch your head. 「頭上に注意して」は Watch your step. 「足もとに気をつけて」(foot leg でもないことに注意) Watch your mouth. 「言葉に気をつけなさい」(口臭のことではない)と一緒に学ぶ。Be 動詞の命令文では careful と careless とを対にして学ぶ。Be 動詞の命令文はのちに、ジーニーが "Be yourself." (蜂に姿を変えてジーニーは Bee とシャレている) "Be a straight shooter." とアラジンにアドバイスする場面でも使われるが、ジーニーはアラジンが王子の身分を偽るのを助けながら、他方で正直の徳を説いてアラジンを困らせる。

王女はアラジンの生活に関心を示して "Is this where you live?" 「ここに住んでいるの」

と問う。この where は魔法の絨毯の旅で歌われる "A Whole New World" の一節にもみられる。旅で王女は、"I can't go back to where I used to be." 「もうもとは戻れない」と歌う。もちろん「もとのところ」where I used to be とは、宮殿だけでなく自由を知らなかった以前の生活のことでもある。

great view は語彙のレベルは高くなく、聞き取りも難しくはないが、great を「素晴らしい」、view を「眺め、眺望」とわかっていのは少ない。「素晴らしい」は good か wonderful で間にあると考えているらしい。JR の特急「ワイドビュー」が連想されることはないのだろうか。

look が「見える」という意味の自動詞であることを学生たちはあまり知らない。「見える」から学生が連想する英語は see や look at だ。自動詞としての look は英語版の『サザエさん』マンガを利用した review でも取り上げる。^{注7}

where to go, how to dress は疑問詞＋不定詞の表現で、私は I don't know how to thank you. 「お礼のしようありません」という表現で記憶している。覚えやすい項目だった。

better の聞き取りはともかく「～よりまし」の意味で使えるかどうか。「選択の自由が無い」も表現はいたって易しい。「自由ではない」と「選択をする」を to でつなぐことができるかどうか。「選択をする」が動詞 choose ではなく make a choice と名詞で表現されていることにも注意。以上のほかにも I wonder what it would be like... は注意したい表現である。アニメの冒頭の cave of wonders で、wonder は動詞でもあり、その意味は「不思議に思う」で、I wonder if ... 「～かしら」の例文をあらかじめ説明しているからこれはその応用編。

相手の言葉に同意したり、感嘆したりする表現として、sound がここでは「音」という名詞ではなく「聞こえる」という意味の動詞であることに注意を促す。この sound は地下牢に幽閉されたアラジンのセリフにも登場する。彼は王女ともしらないで喋ったことを後悔している。"I must have sounded so stupid to her." 「僕はバカ思われたに違いない」^{注8}

ところで、アニメは露天商がアラジンとランプの物語を語ることから始まるが、すでに彼

のセールストークに私たちが今後なんども耳にする表現が使われている。「外見ではなく中身」と説く露天商の英語はいたって易しい。外見と中身という対表現はともに 1 語ではなく what is outside, what is inside と表現される。「外にあるもの」「内にあるもの」が対をなして、It is not what is outside but what is inside that counts. 「大切なのは外にあるものではなく内にあるものだ」となる。もちろんここでは not~ but~ 対句と It~that~ の強調構文のほかにも、count が「カウント」や「数える」ではなく「重要である」「ものをいう」という動詞であることなど、短文の中いくつかの学習項目がある。

what はこのあとも頻繁に登場するだけでなく重宝な表現であり、内と外のように語彙や表現を対として理解するのは記憶や表現力の点から望ましい。what の用法はアニメ全編を通じてみられる。

- (1) I steal only what I can't afford.
- (2) That's not what I meant.
- (3) You will do what I order you to do.

下線部は、(1) では steal の目的語で、この語彙は thief の聞き取りのところで What does a thief do? の答えとして既習の項目。(2) では SVC の C で日常的な表現、(3) は do の目的語で、この構文と what の意味がわかれば難しくはない。アニメの最終バトルで、ジャファーが自分の側に従えたジーニーに命令している映像が英文の理解に役立つ。

以上のことから次のことがいえるだろう。

- (ア) what, where は疑問詞だけではない。
- (イ) 動詞はしばしば名詞でもある。
- (ウ) 動詞はしばしば自動詞としても他動詞としても使われる。
- (エ) ひとつの言葉がもうひとつの言葉を発生させる。
- (オ) 英語の理解には日本語の経験や表現が役に立つ。

(2) 対比で表現する・覚える

対比の例は、内と外、inside と outside, あるいは what is inside, what is outside だけで

なく、アニメ中にいくつか見られる。こんな例はどうか。洞窟に向かうガジームにジャファーが叫ぶ。“The rest of the treasure is yours, but the lamp is mine.” 「宝はみんなお前にくれてやるが、ランプだけは俺のものだ」。mine「私のもの」と yours「あなたのもの」とが効果的に対置されている。日本文と英文とではまるで印象が違う。英文は SVC の文を but でつないだだけの文である。もちろんここでは rest が「休息（休み）」ではなく「その他（残りのもの）」であることは知っておく必要がある。王位の篡奪を企むジャファーは、のちに“It's mine. It's all mine” とランプが手に入ったとヌカ喜びするときも、ジーニーの力を借りて世界の征服者になった“The universe is mine to command, to control!” と叫ぶときも、いずれの場合も mine は彼の支配欲を表現しているが、アラジンが空腹の子どもたちにパンを与える行為とは対照的である。王の宝石から王位まで自分の支配のもとにおきたがるジャファーの欲望の表れが mine という言葉だ。^{注9}

地下牢につながれたアラジンのもとを訪れる老人が魔法の洞窟へ彼を連れ出そうとする。アラジンは老人の誘いに次のように応答するが、ここでも内と外、こことあそこが簡潔な対置法で表現されている。“Ah, one problem. It's out there, but we're in here?”

言葉の対比的な用法はこれにとどまらない。ジャファーがガジームに叫ぶ“Bring me the lamp.” 「ランプをもってこい」。bring の対となる言葉に take がある。「持ってくる（連れてくる）」に対して「持っていく（連れて行く）」。メジャーリーグの試合の 7 回裏に行われる 7th-inning stretch に歌われるのが“Take me to the ball game” 「私を野球につれてって」である。

(3) 動詞が文型を決める

bring と同様な文型をとる動詞として teach, tell, give があるが、王子アークメッドがアラジンを打ち据えていうことばが、“I teach you some manners!” ジーニーのアドバイは“Tell her the truth.” これらはスクリプト中の動詞の用例である。ジーニーの助言とは逆にアラジンは「彼女に嘘をつく」He lied to her.ここでは tell

the truth と lie が対比的に使われている。give は次の場面。追っ手の兵隊たちを振り切って逃げてきたアラジンと相棒のアブーが盗んできたパンにぱくつこうとする。そのとき幼いこどもがゴミをあさって食べ物を探しているのを目撃する。私はこの部分のト書きを利用して映像を見ながら学生たちに動詞の確認を求める。

Aladdin () the bread in two and () half to Abu, who begins to ().
But Aladdin looks over and sees two young children rummaging through the garbage for food. The girl sees him, then () her find and tries to (). Aladdin looks at them, then the bread, then at Abu.

映像を見ながら空欄を補う、つまり登場人物の動きを表す英語を記述するのがここでの作業である。空欄に補うのはいずれも動詞である。盗んできたパンを二つに分け、半分をアブーにやり、もらったアブーは食べはじめる。少女は自分たちの方を見ているアラジンを見て、手に持っていた食べ物を捨て、身を隠そうとする。英文の空欄（日本語の下線部分）には breaks, gives (あるいは hands), eat, drop, hide の英語がはいる。三人称単数現在の・s はともかく、break に思っていたのは簡単ではなさそうだ。ナイフで切るのではないから cut ではない。divide との答えも稀にあるが、break との答えはない。break を知っていても、それをパンをわけるといような場合に利用できない。窓でも割るか機械が故障でもしないとこの言葉は使えそうにない。こんなところにも私たちの英語学習の問題がある。

(4) hand は動詞「手渡す」でもある

映像ではアラジン自ら子どもにパンを手渡ししているから hand(s)でもいい。hand に「手渡す」という動詞もある。スクリプトから動詞 hand や break の例をひろっておこう。

- (1) She hands him the dove.
- (2) The SULTAN removes his ring and hands it to JAFAR.
- (3) It [The carpet] flies over to ALADDIN and hands the hat to ABU next to him.

- (4) Just a handful of this stuff would make me richer than the sultan!
- (5) ALADDIN and ABU on the roof break open the melon and eat.
- (6) He looks down and sees ABU break free of CARPET's hold and lunge toward the jewel.
- (7) It struggles to break free, then does.

(1) ~ (3) は手渡す、(4) は片手いっばいのもの、(5) は盗んだメロンを割ってあける、(6) ~ (7) は自分を捕まえているものから身を振りほどこうとしているのを表している。

註¹⁰ こんな例もある。捕まったアラジンを助けようとして王女が正体を明らかにしてアラジンを逃がすよう兵隊にいう。”Unhand him, by order of the princess.” unhand は「手放す」の意である。

アニメの中心となるのがアラジンとジャスミンが手を握る場面のためか、アニメに hand(s) がしきりに登場する。兵隊が手を切り落とすとアラジンを脅し、店主は王女の手を切り落とそうとし、アリ王子は王女に結婚の申し込みをする。hand(s) はくりかえしあらわれる。

- (1) I'll have your hands for a trophy, street rat!
- (2) He takes her hand and pins it down on the table, intending to chop it off.
- (3) Do you trust me? (He extends his hand)
- (4) I have journeyed from afar to seek your daughter's hand.

名詞として理解している英語が動詞でもあることがわかれば便利だ。例えば voice という名詞は、Genie is voiced by Robin Williams. の文では動詞である。上のト書きの英文の find は「見つける」という意味の動詞ではなく、動詞 drop(s) の目的語であるから、「見つけたもの」という名詞で、hand や voice とは逆の例である。ついでに言えば rummage も garbage もやや難度の高い言葉かもしれないが、映像の助けを借りれば、これらの言葉の意味を理解することは困難ではない。そのための映像なのだ。

(5) 事態の推移を表現する

アラジンは盗みの常習者だが、町の人びとから排除されておらず、とくに女性たちからはシンパシーをもたれている。アラジンと町の女が話題にするのが「面倒なことになる」という表現。彼らの会話とその後の展開には、困ったことになる、困っている、困った状態を脱する、と3つの段階が表現されている。追われるアラジンに町の女たちが挨拶代わりにいう。

Woman: “[You’re] Getting into trouble early today, aren’t we, Aladdin?”

Aladdin: “No way. You’re only in trouble if you get caught.”

強がりも甲斐なく彼は逮捕されてしまう。(“I’m in trouble.”) だが相棒のアブーに助けられて二人は逃げる。“Let’s get out of here.” この here を trouble に置き換えれば、この3つの表現は、困ったことになる、困っている、困った状態を脱する、の3つの状況を表す。get into~で新たな事態の出来を、be in~でその状態にとどまっていること、get out of~ でそれからの離脱を表す。trouble に代えて danger にすれば、「危機に陥る」「危機的だ」「危機を脱する」の表現が、bed であれば、get into bed, in bed, get out of bed となり、ベッドに入ってから起床するまでの表現が得られる。スクリプトには次のような表現が見られる。

- (1) Aladdin uses his carpet as a parachute to land safely and out of danger.
- (2) She (Princess Jasmine) takes a dove out of the cage and pets it.
- (3) Help me out of these.
- (4) The only way I want to get out of this is if my master wishes me out.
- (5) I never actually wished to get out of the cave.
- (6) We could get out of the palace and see the world.
- (7) You stay out of this.
- (8) Why are you bringing me into this?

(1) は「危機を脱して」、(2) は王女が鳩をかごから取り出す、(3) は地下牢に両手を縛られているアラジンが助けにきたアブーに

言う言葉で「これを外してくれ」、(4)は「これ(ランプ)の外に出られる唯一の方法は」と巨人ジーニーのことば、(5)では洞窟からの脱出を願ったのは自分ではないとアラジンはジーニーうそぶく(6)は王女を宮殿から誘い出すアラジンのことば、(7)ではジャファーが敵のアラジンを応援するジーニーに向かって「お前はだまっている(この闘いに関係ない)」とのものしる、(8)では逆に闘いの圏外にいるはずなのにダシにされて抗議するジーニーのセリフで「なぜ私をこんなことにひきこむのか」の意。動詞を代えればこんな表現も可能だ。out of ーの応用編とっていいだろう。bring はすでに登場した。stay は「宿泊する」だけでなく「とどまる、ーのままである」の意味はどれほど知られているだろうか。

(6) 現在完了と受動態

現在完了と受動態は学生たちには難しそうに思われているが、動詞部分の形式とその意味を知っておけばさほど難しいものではない。スクリプトでは現在完了は先ず「経験」の意味で用いられる。(1)は露天商の「こんな完璧なもの見たことがない」とセールストーク、(2)~(4)は王女の宮殿のナイナイづくしの生活の訴え、(5)はジーニーの「そんなことたずねられたことがない」とのアラジンへの答え。

- (1) I've never seen one of these intact before.
- (2) I've never done a thing on my own.
- (3) I've never had any real friends.
- (4) I've never even been outside the palace walls.
- (5) Me? No one's ever asked me that before.

「完了」の例は以下の通り。

- (1) I'm so glad you've found her.
- (2) Sadly, the boy's sentence has already been carried out.
- (3) Jafar...has...done something... terrible.

(1)は王女を助けるためにアラジンがうった芝居で「見つけてくれてありがとう」。(2)は「アラジンの処刑が行われてしまった」というジャファーの嘘で受動態の現在完了。(3)は王

にジャファーの悪事を告発する王女のことば。次の例は現在完了進行形で、「ずっとーしていた」の意味。

- (1) JASMINE has been watching from the balcony of the palace.
- (2) I've been looking all over for you.

受動態も動詞の部分は Be 動詞+過去分詞だから難しくはない。場合によっては byーと動作主があとに続くのでさらに分かりやすい。次はスクリプトからの例。(1)は「外見に騙されてはダメ」という露天商の言葉。ここでは fool が名詞(「愚か者」)ではなく動詞(「騙す」)である。(2)は洞窟に入ろうとするガジームが「洞窟の咆哮に吹き飛ばされる」。(3)は娘の将来を心配する王のことばで、「庇護されて住むところ、食べることに不自由しない」の意味、(4)は堀を乗り越えて逃げる王女がトラのラジャーに「助け上げられる」。

- (1) Do not be fooled by its commonplace appearance.
- (2) GAZEEM reaches the cave, but is blown away by the roar of the cave's speaking.
- (3) I just want to make sure you're taken care of, provided for
- (4) She begins to climb again, and is helped up by Rajah.

現在完了形も受動態もともに形式も意味もわかりやすく、スクリプトは用例に事欠かない。学生の苦手な文法項目らしいが、文法がダメなら文脈や映像で理解することはできないだろうか。日本語に同種の表現があるように。理解するための工夫を期待したい。

7. 英語と日本語の間

アラジンが助けた王女をビルの屋根伝いにネグラまで案内する。途中で建物と建物の間を彼は竿で飛び越えた彼は、王女のために建物の間に板を渡してやる。だが王女はアラジンにならって竿で彼の頭上を飛び越える。そのあと彼女が言うセリフ。"I'm a fast learner." 字幕では

「楽なもんよ」と意識されているが、「もの覚えがいいから」「飲み込みがいいから」というところ。それにしても分かりやすく状況に適した表現である。主題歌で歌われた“I can't go back to where I used to be.”では下線部が身と心を表現していた。同じように“You stay out of this.”「お前は黙っている(関係ない)」とジーニーを叱責するジャファ어의言葉、あるいは闘いに巻き込まれそうになってジーニーがいう“Why are you bringing me into this?”「どうして俺を巻き添えにするのか」「おれ、関係ないよ」という表現、あるいは地下牢に幽閉され両手の自由が利かないアラジンがアブーにいう“Help me out of these.”「これから助け出してくれ」「これ外してよ」の表現などをみると、易しい英語の豊かな表現力を思わないわけにはいかない。日本語からの英訳を考えてみればいい。こんな平易な英語が思いつくだらうか。冒頭に示した外見と中身の英語表現についても同じことが言える。日本語を経由するとうちはいかならないだろうか。

8. もうひとつの学習法—スクリプトで検索

インターネットの出現によって私たち外国語学習の環境は一変したのは先に述べた通りだが、自前の学習を可能にしたのもそのひとつではないだろうか。私がここで採り上げるのは、アニメ『アラジン』のスクリプトを使ってさらにどのような学習が可能かということである。

まず物語の中心にいる二人、アラジンとジャスミンを結ぶ言葉を考えてみよう。逮捕にきた兵隊から逃げようとしてアラジンがジャスミンにいうのは、“Do you trust me?” アリ王子になったアラジンは魔法の絨毯で宮殿を抜け出すときにこの言葉をいってなかば正体がばれてしまうが、これは彼らだけの言葉ではない。それを検索を使ってチェックしてみると、この言葉を最初に使うのが悪役ジャファードというのがわかる。盗賊ガジームが報酬と引きかえにしかメダリオンを渡そうとしないのを“Trust me, my pungent friend.”といてなだめようとする。その悪役ジャファードは王の右腕として宮殿

ではむしろ王をしのぐ力を持っている。ジャファードの前にこども同然の王は彼に絶大な信頼を置いているらしく、“my most trusted advisor”と呼びかけるが、ジャファードは王位の篡奪を画策する人物だ。ジャファードの詐術から目覚めた王はジャファードの裏切りを知って言う。“my most trusted counselor plotting against me all this time. Just horrible.”

“trust me”は二人の恋人を結ぶキーワードであるが、それはまた悪役ジャファードがガジームをたばかる言葉でもあった。trusted は過去分詞の形容詞的用法。さらに信頼 trust と、信頼を裏切る陰謀(を企てる) plot という言葉、それを「ひどい」terrible と批判する言葉。信頼を裏切るもののことを王は traitor といい、betrayed とよぶ。trust という言葉をもとに、trusted の用法、さらに信頼を裏切る陰謀という言葉、それを行うものを traitor, betrayer というのも、こうして学ぶことができる。^{注11}

9. アラジン英語で新聞を読む

英語の学習が教室の外でも展開してほしいと私は考えている。アニメの英語学習からさらに学習はできないものか。試みにアニメのキーワード「ダイヤモンドの原石」a diamond in the rough、テーマソングのA Whole New World、をネットでチェックしてみよう。すると雑作なくヒットした。オンライン新聞とネットの記事である。^{注12} これもネットの恩恵だ。ひとつは Christian Science Monitor 紙の野球の記事で、メジャーリーガーの4分の1の選手がドミニカの出身だというリードをもつ「金の卵たち」Diamonds in the rough と題する記事。その冒頭部分を引用する。

This is where the day begins, on a rocky beach by the Caribbean Sea, as the sun rises above the water and the wind whips into the small shops that line the seawall. ... The smallest in the group is Angel Nova. He is 15, but looks 13. He comes here every morning at 6 a.m., dressed in the same soiled yellow shorts and wearing the same black ski cap, which he pulls down almost to his eyes.

最初の下線部は *Is this where you live?* そのままとと言えるほど。「ここで一日が始まる、カリブ海に面した岩場の海岸である。太陽が海からのぼり防潮堤沿いの小さな店に風が吹きつける。」と記事は始まる。記事が取り上げる最年少の少年ノバについて、第二の下線部「実際は15歳だが13歳に見える」は自動詞 *look* で学んだ。 *dressed, wearing* からは彼の着衣のことが記されているのがわかる。目深にかぶっている帽子を指す関係代名詞 *which* は、ト書きのところで学んでいる。

もうひとつは、主題歌と同じタイトルの *A Whole New World* で、テレビ映画『ルーツ』に出演した女優の手記。『ルーツ』のテレビ放映に示された熱狂と出演者の期待とその後の落胆とが記されている。

Ann·Margret, who was appearing at the Hilton, called me and said, "You won't believe it. We've had to change the showtime because nobody wants to do anything until after they see 'Roots.'" ...It was phenomenal what this television show did. It was beyond everything. ...We weren't even asked to do any other television projects. I thought "Roots" would open a whole new world, but then ...nothing. Nothing.

appear は *disappear* と対して学習した言葉で、ここでは「出演する」の意。「このテレビ番組がしたこと」は疑問詞ではない *what*。受動態も *a whole new world* も学習済み。

野球の記事がハングリーな若者が *MLB* を目指してトレーニングをしている記事、新世界が開かれると思ったがもとの木阿弥になってしまったテレビ出演者の話など、充分私たちの経験や想像力で補うことのできるものだ。外国語の学習にはこうした能力を大いに発揮したい。私たちの全く知らない世界や想像力の届かないことが書かれているわけではないからだ。

10. おわりに

私の授業を紹介してきたが、それはそのまま授業の再現というわけではなく、いくつかの用

例の紹介が示しているように、そのような点にポイントをおいて授業を展開してきたということである。私の授業が学生の英語学習にどれだけ効果があったかとなると心もとない。細部に立ち入りすぎるとの批判があるかもしれない。しかし短期大学や大学の学生であれば、アニメの描写は理解できると思われるし、英語表現は映像の助けをかりれば私たちの日常の経験と言語の範囲であることがわかる。本文中でも記したが、私は易しい英語表現に驚くことがしばしばであった。私がこのアニメを選んだのもこんなところに理由のひとつがあったと後思考したほどだった。もうひとつ言えば、ネット上のスクリプト検索による学習は、私が学生と学習方法を共有したくて紹介したものだ。従ってここに記したものは私の授業方法でもあるが、それ以上に私の外国語学習法であるといってもよい。

学習環境が大いに変貌している。学習の条件は学習者にとって有利になっているのではないだろうか。この状況を学習者は利用して欲しい。新しい状況に応じた自前の学習を勧めるのと同時に、本文中でも触れたように、学生たちがもっと自分たちの言語に関心を払うことを私は願う。カタカナ言葉として日常的に使用していながら、英語として提示されるとたじたじとなることがしばしば見られる。英語学習以上に、まずは日常の言葉に耳を傾けること、言葉の感覚を磨くこと、そうすることで外国語へのかかわり方が変わるのではないかと私は期待する。それは英語の学習を教室に閉じ込めないで広い場所に引き出すことになるのではないだろうか。

引用文献

- 1) <http://www.imsdb.com/scripts/Aladdin.htm>
2012年10月17日にアクセス。

注記

- 注1 2001年2月26日の京都大学の入学試験で、受験生が試験時間に英語の問題を携帯電話から

ネット上の掲示板に投稿して正解を募った事件。
2月27日の朝日新聞朝刊は1面で「京大入試中問題をネット投稿」「解答お願い」の見出しで事件を伝えている。

- 注2 私は高校時代（1960年代半ば）に英語の授業で毎週英単語の小テストを経験したが、私にはほとんど効果がなかった。ポキャブラリーの強化で効果があったのは、英語の本を最後まで読み通すという大学入学後の何度かの経験だった。語彙が蓄積すると、それをもとに語彙の強化が行われるものと思う。
- 注3 DVDには不便な点もある。パイラシーの警告はスキップできないし、お目当ての箇所に一足飛びに行こうとしても、もったいぶった映像とメニューを待たなければならない。じれったい思いをするのはしばしばである。
- 注4 村上由見子『ハリウッド100年のアラブ』（朝日選書）はこのアニメのステレオタイプ性を指摘している。劇場版にあったアラブは野蛮というイメージがビデオ版では削除されたこと、盗賊ゲームは元大統領フセインにそっくりだと論じ、歌の“A Whole New World”はアメリカの国策「ア・ニュー・ワールド・オーダー」とそっくりとの論を引用している。（pp. 89-91）
- 注5 若桑みどり『お姫様とジェンダー —アニメで学ぶ男と女のジェンダー学』（ちくま新書）は、ディズニーアニメの『白雪姫』を題材にして行った大学のジェンダーの授業を報告している。
- 注6 スクリプトでは Fabulous であるがアニメでは **That sounds fabulous.** となっている。
- 注7 英語版『対訳サザエさん』（J. ヤング訳 講談社インターナショナル）からの抜粋をもとに『アラジン』で学習した表現の練習をする。空白の吹き出しに適切な表現を補い、英文中の空欄に適切な語を補充する。その他に、アニメ『ポカホンタス』や『ローマの休日』を利用する。
- 注8 ここではその他の感覚、嗅覚（smell）、味覚（taste）、触覚（feel）の表現も私は紹介する。
- 注9 yours と mine とを分けていたジャファーだが、その後の彼の行動は、すべてが自分のものだといいことを語っている。この世界の支配者になることが彼の最終的な目標なのだから。そこには私と区別されるあなたが存在する余地があるとは思えない。

注10 **break** には力を加えて壊す、という意味がある。パンを二つに分けるのもそうだったが、ここではスイカを割ったり、アプーと絨毯が自分を捉えているものから自由になろうとしてもがいているさまを、この動詞で表している。

注11 ジャファーとジャスミンの会話からは犯罪に関係する一連の言葉をうることができる。**keep peace** 治安維持、**criminal** 犯罪者、**crime** 犯罪、**kidnap** 誘拐する、**sentence** 判決、**behead** 首をはねる。**worth** で検索すれば、**worthy, worthless**, 形容詞としての **worth** が見つかる。

注12 ともにネットで入手したもの。**Christian Science Monitor** の記事は今も以下のサイトで読むことができる。他のひとつはもはや読むことができない。

<http://www.csmonitor.com/2002/0325/p01s04-us-sc.html> 2012年10月17日にアクセス。